

辛かった時期も今思えば楽し



PES旧友 日置 明郎氏

会社の創立50周年にあたり、入社以来45年勤め上げた自分の歩んだ道を振り返ってみる。

バブル景気、リーマンショック、長いデフレ等、苦難をくぐり抜け適宜対応を迫られた発注書の注文を受け応えたことが懐かしく、辛かった時期も今思えば楽しい思い出となった。

設計・監理・コンサルの業務もある中で、中部地方整備局、愛知県・名古屋市、地方都市の基本計画、設計監理等々の業績を懐古し、今は楽しく感じる。

いろいろな枚挙にいとまがなかったが、設計にあたり、著名な建物見学の感触を得て生かせることができた。

当社の指針でもある「自然を生かし、設備で補う」をモットーに業績を残したことを自負している。「地球環境に優しい」テーマに沿い、それを設計指針の基準とした設計計画立案を続けてきた。

関わってきた主なものでは、中部地方整備局受注の刈谷地方合同庁舎、刈谷産業振興会館、愛知県の児童相談所、愛知万博等。

地方都市では、豊橋美術博物館、地下資料館、豊明文化センター、水窪文化会館、三ヶ日庁舎、三ヶ日文化センター、桑名中央消防署、四日市中央卸売市場、ヤマハテクニカルセンター、ワシントンホテルへの設備設計基準、また各箇所への設計への設備コンサル。

名古屋では、ポートビル生命科学館、各区のスポーツセンター5箇所などなど。 2022年4月吉日記す



仕事を終えて 憩いのひととき